

沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会（第9回）議事概要

- 1 開催日時：令和8年8月19日（水）15:00～16:46
- 2 開催場所：平和祈念資料館 2階大会議室
- 3 出席委員：宮城晴美、林博史（オンライン）、瀬戸隆博、古賀徳子（オンライン）、謝花直美（オンライン）、鳥山淳、里井洋一（オンライン）、新城俊昭、今理織（オンライン）、山城彰子、石堂徳一、宮良純一郎、山口剛史

事務局： 沖縄県平和祈念資料館 館長 大城友恵、副参事 平良智子、学芸班長 中山晋、主幹 比嘉栄司、主査 嶺井京子、主任（学芸員）大城航、主事 川満彰、学芸員 仲本和

八重山平和祈念館（オンライン）分館長 親盛剛、主任 島袋光太
乃村工藝社 上原裕、森誠一郎、宮城あずさ、平良里紗、齊藤恵理、芦田光代、松岡瑛美

（オンライン）西村世津子、三宅大朗、中村和延

4 議題等

- (1) 沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館展示更新基本設計（最終案）
[資料1]
- (2) 基本設計（最終案）に関する委員意見・事務局対応方針（案）[資料2]
- (3) 各部会と確認を要する事項について [資料3]

5 議事等

- (1) 沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館展示更新基本設計（最終案）について

- (2) 基本設計（最終案）に関する委員意見・事務局対応方針（案）について
ア 事務局が資料1及び資料2の説明を行った。

イ 基本設計（最終案）に対して、委員から次のような発言があった。

①戦前・戦中時代部会

- ・これまで明らかにされている事実をきちんと伝える、理解してもらうとともに、来館者一人一人に沖縄戦について自ら考えてもらいたい。
- ・展示の「ねらい」も「何々を伝える」という言い方に留めず、「一人一人に考えてもらう」「ともに考える」という考え方を打ち出している。
- ・そのため、「なぜ」という問いかけを導入部をはじめ、展示室各所で提示するとともに、問いかけについて考える手掛かりとなる事実や証言、資料を提示し、来館者自らが考えてもらえる展示としたい。

②戦後時代部会

- ・特になし。

③平和の発信・学習部会

- ・特になし。

④八重山平和祈念館部会

- ・これまで複数回の部会を重ね、展示項目の削除や修正、追加等を繰り返してきており、部会での意見が概ね反映されている。
- ・一部、若干修正した方が良いかなと感じている部分もあるが、今後の実施設計で十分に検討できると考えている。

ウ 第1展示室の問いかけ展示に対して、委員から次のような発言があった。

- ・第1展示室「沖縄戦への道」の問いかけ展示が、問いかけの文章のみで構成されると、来館者が問いを考えるための素材が不足するのではないか。
- ・「なぜ」という問いは、来館者の答えを収斂^{しゅうれん}させる性格をもっているため、展示が一つの方向へ導いているように受け止められる可能性があるのではないか。
- ・問いを考えるための素材として、第1展示室の入口に「平和の礎」をテーマにした映像があると捉えていた。
- ・現在例示されている問いかけでは、答えがすでに用意されているように来館者に捉えられてしまう可能性がある。また、これまでの平和教育に対する批判の一つとして、平和への押し付けがあったと言われることに資料館が追認しているように思われてしまうと良くないのではないか。
- ・「なぜ」という問いかけは、決して答えが決まっているものではなく、多様な考え方が成り立つし、場合によっては答えが全く分からない「なぜ」もありうると考えているので、現在の問いかけ自体は全く変える必要はないと考えている。
- ・現在の展示構成は、問いかけ展示の後に、琉球併合から沖縄戦に至る情報量が多い歴史が展示される。「なぜ沖縄が戦場になったのか」「なぜたくさんの民間人の命が奪われたのか」は展示を見ていくための大きなテーマのようなものを示していて、その問いかけの答えは、あくまで来館者に委ねられており、問いかけの内容は事実でもあるため、現状案で問題はないと考えている。
- ・現在の問いかけの内容は、来館者の思考を限定的にしてしまうと考えている。来館者の思考を拡散させる、いろいろな考え方に出会い、入口のところで問いをいっぱい持っていけるような問いにしてほしい。
- ・現在の問いかけの内容は、2階の展示を見る際に絶対にここを押さえてほしい、わかってほしいという問いかけ展示だと思っていた。資料館の展示そのものをどうするかということと、展示を通して学びをどのようにサポートしていくかというところかと感じている。

- ・八重山平和祈念館では、来館者に何かしらの疑問をもって展示を見てもらうため、入口で戦没者の死因データを示したいと考えている。大きな戦争にも関わらず、砲弾で死んだ人が少ない、病死が多い、といった問いが生まれながら展示室に入ってもらうことを考えていた。いずれにせよ、子どもたち自身が作った問いで展示を見てほしい。
- ・問い方の工夫はあるのかと考えている。問いかけ展示の前段として映像や戦前の日常に関する導入展示があるので、戦前の風景をどのように位置づけながら戦争に突入していくのか展示手法を工夫できると、子どもから大人まで、それぞれの発達段階や知識に合わせた疑問が生まれるのではないかと。
- ・これまで戦前・戦中時代部会で議論してきた問いかけ展示をすぐに変えるということもできないため、問いかけ方の工夫がどのようにできるか、今後の部会で検討していきたい。

エ 基本設計（最終案）の文言等について、委員から次のような発言があった。

- ・展示構成リストについて、2 頁の大項目 2 「沖縄戦への道」ねらいの文章冒頭を微修正してもいいのではないかと。また、8 頁の大項目 3 「地域ごとの沖縄戦」ねらいの文章中、「県民が」という表現を外しても良いのではないかと。
→ねらいの意図があるため、そのままとする。
- ・64 頁 3-3-②がベトナム戦争になっているため、ベトナム戦争に修正してほしい。
→「ベトナム戦争」に修正する。
- ・92 頁ほか 琉球史では“中世”という用語は使わない。“近世”とするのが妥当ではないかと。
→「近世」に変更する。
- ・92 頁 大項目ねらいで“空襲攻撃”とあるが、中項目ねらいでは“空襲”になっているため、どちらかの表現に合わせた方が良いのではないかと。
→「空襲」に統一する。

オ 審議結果

- ・基本設計（最終案）で了承する。
- ・今回の意見を踏まえた修正や表記の揺れ等の確認は副会長（会長代理）一任とする。

(3) 各部会と確認を要する事項等について

ア 事務局が資料 3 の説明を行った。

- ・各部会と確認を要する事項等について

イ 委員から次のような発言があった。

- ①導入における「平和の礎」の扱いについて
 - ・特になし。
- ②第1展示室、第5展示室の「導入」について
 - ・特になし。
- ③「平和の礎」刻銘者データを活用した展示について
 - ・1階と2階で同様のデータを扱う場合、同じ展示が重複しているように見えない方が良いのではないか。
 - ・2階は歴史学的・研究的な手法で詳しく分析し、1階では子どもにもわかりやすく、教育的視点で扱うことが考えられるが、2階の展示内容は具体化の途上であるため、1階と2階の展示内容がさらに具体化した段階で調整できればと考えている。
 - ・2階はある程度固定の内容になると思うが、1階は状況に応じて新しいデータや考え方を反映する形になると思っている。
- ④第5展示室「現在の戦争と紛争」、「世界情勢」の展示について
 - ・特になし。
- ⑤その他
 - ・特になし。

令和8年10月9日
知事公室 平和祈念資料館

【資料2】

基本設計（最終案）に関する委員意見・事務局対応方針（案）

NO	委員名	頁数／項目	最終案の記載内容	左記の修正案	修正理由等	意見への事務局対応方針（案）

その他事務局 誤記訂正等

No.	頁	項目	素案の記載内容	左記の修正案	修正理由等	備考
1	－	共通	一人ひとり	一人一人	表記統一	※基本計画と統一
2	－	共通	人びと	人々	表記統一	
3	9	展示構成リスト（本館2階）-8 第3展示室 大項目ねらい	～ガマの再現模型のなかに入ることによって～	～ガマの再現模型の中に入ることによって～	表記統一	
4	9	展示構成リスト（本館2階）-8 第4展示室 大項目ねらい	沖縄戦をはじめとする戦争を体験した沖縄の一人一人の証言にじっくり向き合うことで、戦争の実相を感じ取り、来館者一人一人が自分にとって戦争とは何かを考える契機とする。	沖縄戦をはじめとする戦争を体験した一人一人の証言にじっくり向き合うことで、戦争の実相を感じ取り、来館者一人一人が自分にとって戦争とは何かを考える契機とする。	表現見直し	※p.51 も同様の修正有
5	10	展示構成リスト（本館2階）-9 第5展示室 大項目ねらい	また米国統治下で住民人権が抑制されたことと、～	また米国統治下で住民の人権が抑制されたことと、～	誤記訂正	
6	10	展示構成リスト（本館2階）-9 第5展示室 2-3 中項目ねらい	人権が蔑ろにされ米国統治下の状況と、～	人権が蔑ろにされた米国統治下の状況と、～	誤記訂正	
7	15	展示計画図（本館2階-第1展示室） 1-1 展示の展開方針 3行目	解説（ナレーションやテロップなど）は極力おこなわず、～	解説（ナレーションやテロップなど）は極力行わず、～	表記統一	
8	28	更新のイメージ（本館2階） 第2展示室	（左端引き出し） 2-7.軍隊による性暴力	削除	重複により削除	
9	42	展示計画図（本館2階-第3展示室） 1-1 展示のねらい 2行目	～ガマの再現模型のなかに入ることによって～	～ガマの再現模型の中に入ることによって～	表記統一	※p.42～45 も同様の修正有
10	44	展示計画図（本館2階-第3展示室） 1-2～1-5 展示の展開方針 3行目	沖縄戦当時のガマのなかで、“何が起きていたのか”を伝える解説を強化する。	沖縄戦当時のガマの中で、“何が起きていたのか”を伝える解説を追加する。	表記統一	※「追加」への変更は、基本計画と統一
11	51	展示計画図（本館2階-第4展示室） 1-1 展示の展開方針 1行目	既存の展示環境を踏襲。	既存の展示環境を踏襲する。	表現見直し	

No.	頁	項目	素案の記載内容	左記の修正案	修正理由等	備考
12	59	展示計画図（本館2階-第5展示室） 2-3 展示の展開方針 2行目	～復帰運動が高まっていく様子と復帰に向けた日米の動きを示す。	～復帰運動が高まっていく 沖縄 の様子と復帰に向けた日米の動きを示す。	表現見直し	
13	60	展示計画図（本館2階-第5展示室） 2-4 展示の展開方針 1行目	再現空間内の各建物に解説を設け、映像を～	再現空間内の各建物に解説を設けるとともに、映像を～	表現見直し	
14	61	展示計画図（本館2階-第5展示室） 2-4 展示の展開方針 3行目	テーマを深く掘り下げる長編映像で展開する。	テーマを深く掘り下げる ため 長編映像で展開する。	表現見直し	
15	62	展示計画図（本館2階-第5展示室） 3-1 展示の展開方針 1行目	映像と壁面写真・図版を用い、日本復帰時の様子や、その後の～	映像と壁面写真・図版を用いて、日本復帰時の様子や、 ~~その後の～~~	表現見直し	
16	63	展示計画図（本館2階-第5展示室） 3-2 展示の展開方針 2行目	現在も続く基地負担の実態を紹介する。	現在も続く基地負担の 影響 や実態を紹介する。	表現見直し	
17	68	展示構成リスト（本館1階）-1 2-1-① 展示内容の概略	沖縄の人々がたどった戦後のライフストーリー	沖縄の人々が 辿った 戦後のライフストーリー	表記統一	※p.79 も同様の修正有
18	68	展示構成リスト（本館1階）-1 2-2 中項目ねらい	世界でおきた（おきている）戦争・紛争、差別などの人権問題など、戦争や紛争は人々の～	世界で 起きた（起きている） 戦争・紛争、差別などの人権問題などは、人々の～	表現見直し	※p.80 も同様の修正有
19	68	展示構成リスト（本館1階）-1 2-2-② 展示内容の概略	沖縄・日本にある人権問題	沖縄・日本に 存在する 人権問題	表現見直し	※p.80 も同様の修正有
20	69	展示構成リスト（本館1階）-2 3-1 中項目ねらい	世界各地の戦争・紛争地で平和構築活動をしている人の取り組みなどを伝え、戦争・紛争は終わらせることができることを伝える。	世界各地の戦争・紛争地で平和構築活動を 行っている 人の取り組みなどを伝え、戦争・紛争は終わらせることができることを伝える。	表現見直し	※p.83 も同様の修正有
21	69	展示構成リスト（本館1階）-2 3-2-① 展示内容の概略	沖縄など国内で平和構築や人権問題解決に取り組む人々を取り上げ、平和を創るという意欲を高めてもらう。	沖縄など国内で平和構築や人権問題解決に取り組む人々を取り上げ、平和を創る意欲を高めてもらう。	表現見直し	
22	69	展示構成リスト（本館1階）-2 3-2-① 展示内容の概略	「平和の礎」の理念や課題を振り返り、未来にむけての可能性を考える	「平和の礎」の理念や課題を振り返り、未来の 平和創造に向けて 可能性を考える	表現見直し	※p.84 も同様の修正有
23	69	展示構成リスト（本館1階）-2 3-3 中項目ねらい	県内の子どもたちが平和について発信していることを伝え、来館者に平和を発信する意識を醸成してもらう。	県内の子どもたちの平和について発信している 活動 を伝え、来館者に平和を発信する意識を醸成してもらう。	表現見直し	※展示計画図も修正
24	69	展示構成リスト（本館1階）-2 4 大項目ねらい	沖縄戦や人権問題を考えられる企画展示を実施する。	沖縄戦や人権問題を考える 機会を提供する 企画展示を実施する。	表現見直し	※p.67 も同様の修正有
25	69	展示構成リスト（本館1階）-2 4-1 中項目ねらい	沖縄戦や人権問題を考えられる企画展示を実施する。	沖縄戦や人権問題を考える 機会を提供する 企画展示を実施する。	表現見直し	※p.86 も同様の修正有
26	69	展示構成リスト（本館1階）-2 5 大項目ねらい	絵本や学習ツールに触れながら、平和について考えられる空間にする。	絵本や学習ツールに触れながら、平和について考える 機会を提供する 空間にする。	表現見直し	※p.67 も同様の修正有

No.	頁	項目	素案の記載内容	左記の修正案	修正理由等	備考
27	69	展示構成リスト（本館 1 階）-2 5-1 主な展示資料	現在の「世界のこどもたち」のケース内展示物、 平和に関する絵本など	現在の「 せかいのこどもたち 」のケース内展示物、 平和に関する絵本など	現状の展示 室名に統一	※p.87 も同様の修正有
28	69	展示構成リスト（本館 1 階）-2 6-1 中項目ねらい	戦争や平和、人権への理解を深める、また平和学 習を進めるために必要な資料・情報を提供する。	戦争や平和、人権への理解を深める。また平和学習 を進めるために必要な資料・情報を提供する。	誤記訂正	※p.89 も同様の修正有
29	69	展示構成リスト（本館 1 階）-2 6-2 中項目ねらい	当館が所蔵する多数の戦争体験証言を閲覧し、常 設展示の理解を深められるようにする。	当館が所蔵する多数の証言を閲覧し、常設展示の理 解を深められるようにする。	表現見直し	※p.89 も同様の修正有
30	69	展示構成リスト（本館 1 階）-2 6-2 主な展示資料	戦争体験に係る証言の映像など	証言の映像など	表現見直し	※p.89 も同様の修正有
31	75	展示計画図（本館 1 階-子ども・プロ セス展示室） 1-1 展示の展開方針 2 行目	「平和の礎」への問いかけをし、展示室とのつな ぎ・導入とする。	「平和の礎」に関する問いかけ 展示により 、展示室 とのつながり・導入とする。	表現見直し	
32	76	展示計画図（本館 1 階-子ども・プロ セス展示室） 1-2 展示の展開方針 2 行目	モニターで、ライフヒストリーのアニメを上映 し、幅広い年齢層にライフヒストリーを伝えられ るようにする。	モニターで、ライフヒストリーの アニメーション を 上映し、幅広い年齢層に伝えられるようにする。	表現見直し	
33	76	展示計画図（本館 1 階-子ども・プロ セス展示室） 1-2 展示の展開方針 3 行目	小型ライフヒストリーで、各出身地の刻銘者を取 り上げる。	小型パネルでは、多くの刻銘者のライフヒストリー を取り上げる。	表現見直し	
34	78	展示計画図（本館 1 階-子ども・プロ セス展示室） 1-4 展示の展開方針 3 行目	解説ではなく、クイズ形式など学びやすい手法を 検討する。	クイズ形式など学びやすい手法を検討する。	表現見直し	
35	79	展示計画図（本館 1 階-子ども・プロ セス展示室） 2-1 展示の展開方針 2 行目	戦争の反省から日本国憲法がつくられたことや、 憲法の適用をもとめて復帰運動が行われたことも 伝える。	戦争の反省から日本国憲法がつくられたことや、憲 法の適用を 求めて 復帰運動が行われたことも伝え る。	表現見直し	
36	79	展示計画図（本館 1 階-子ども・プロ セス展示室） 2-1 展示の展開方針 3 行目	沖縄の人々の平和活動や平和を願う想いがわかる 展示内容を検討する。	沖縄の人々の平和活動や平和を願う想いが 伝わる 展 示内容を検討する。	表現見直し	
37	80	展示計画図（本館 1 階-子ども・プロ セス展示室） 2-2 展示の展開方針 2 行目	大戦の反省から世界人権宣言等ができたことや、 国際人権法が確立されても紛争がつづく現状を伝 える。	世界人権宣言等ができたことや、国際人権法が確立 されても紛争がつづく現状を伝える。	表現見直し	
38	80	展示計画図（本館 1 階-子ども・プロ セス展示室） 2-2 展示の展開方針 4 行目	日本、沖縄にある人権問題に関わる人々のライフ ヒストリーを伝える。	日本、沖縄に 存在する 人権問題に関わる人々のライ フヒストリーを伝える。	表現見直し	

No.	頁	項目	素案の記載内容	左記の修正案	修正理由等	備考
39	83	展示計画図（本館1階-子ども・プロセス展示室） 3-1 展示の展開方針 1行目	平和構築活動をしている人々のライフストーリーを伝える。	平和構築活動を行っている人々のライフストーリーを伝える。	表現見直し	
40	83	展示計画図（本館1階-子ども・プロセス展示室） 3-1 展示の展開方針 2行目	沖縄県内など身近に平和活動を行っている人々についても取り扱う。	沖縄県内など身近で平和活動を行っている人々についても取り扱う。	表現見直し	
41	85	展示計画図（本館1階-子ども・プロセス展示室） 3-3 展示の展開方針 2行目	その年ごとの作品が展示できるように更新性の高いものにする。	年度ごとに作品が展示できるように更新性の高い展示手法とする。	表現見直し	
42	87	展示計画図（本館1階-子ども・プロセス展示室） 5-1 展示の展開方針 1行目	小上がりにし、くつを脱いでくつろげるスペースとする。	小上がりにし、靴を脱いでくつろげるスペースとする。	表現見直し	
43	88	展示計画図（本館1階-子ども・プロセス展示室） 5-1 展示の展開方針 2行目	アンケートやメッセージ、ワークを設置して、平和や戦争・紛争について深く考えられるような工夫をする。	アンケートやメッセージ、ワークシートを設置して、平和や戦争・紛争について深く考えられるような工夫をする。	表現見直し	
44	92	展示構成リスト（八重山平和祈念館（分館）） 1-2-② 展示内容の概略	琉球併合と分島・条約案	琉球併合と分島・増約案	誤記訂正	※p.100も同様の修正有
45	103	展示計画図（八重山平和祈念館（分館）） 2-1～3 展示内容の概略（引き出し）	2-2-④ 「戦争マラリア」と戦争孤児	2-2-④ 戦争マラリアと戦争孤児	リスト表記と統一	
46	103	展示計画図（八重山平和祈念館（分館）） 2-1～3 展示内容の概略（引き出し）	2-3-② 「戦争マラリア」による犠牲者	2-3-② 戦争マラリアによる犠牲者	リスト表記と統一	

沖縄県平和祈念資料館 展示更新基本設計
第 9 回監修委員会資料

各部会と確認を要する事項について

2026年 8 月19日
(株)乃村工藝社

本資料には、第三者の著作物が含まれていることがあります。検討の過程における利用に供することを目的とし、かつ、本件のご担当者の内部利用である場合には、本資料を利用することができますが、本資料について当該目的以外の利用その他開示・配布等を行うことのないよう、十分にご注意ください。著作権法に抵触することがあります。
最終的に、内部利用以外で当該著作物を利用される場合には、必要に応じて著作権者の許諾又は裁定を受けて頂きますよう、よろしくお願いいたします。

①導入における「平和の礎」の扱いについて

【第7回監修委員会 資料2より】

第1展示室の「導入の導入」と子ども・プロセス展示室「平和の礎を考えるコーナー」の「導入」において、「平和の礎」の情景を映像（スライドショー含む）にして投影する案が出ている。

【戦前・戦中時代部会】

▶第1展示室

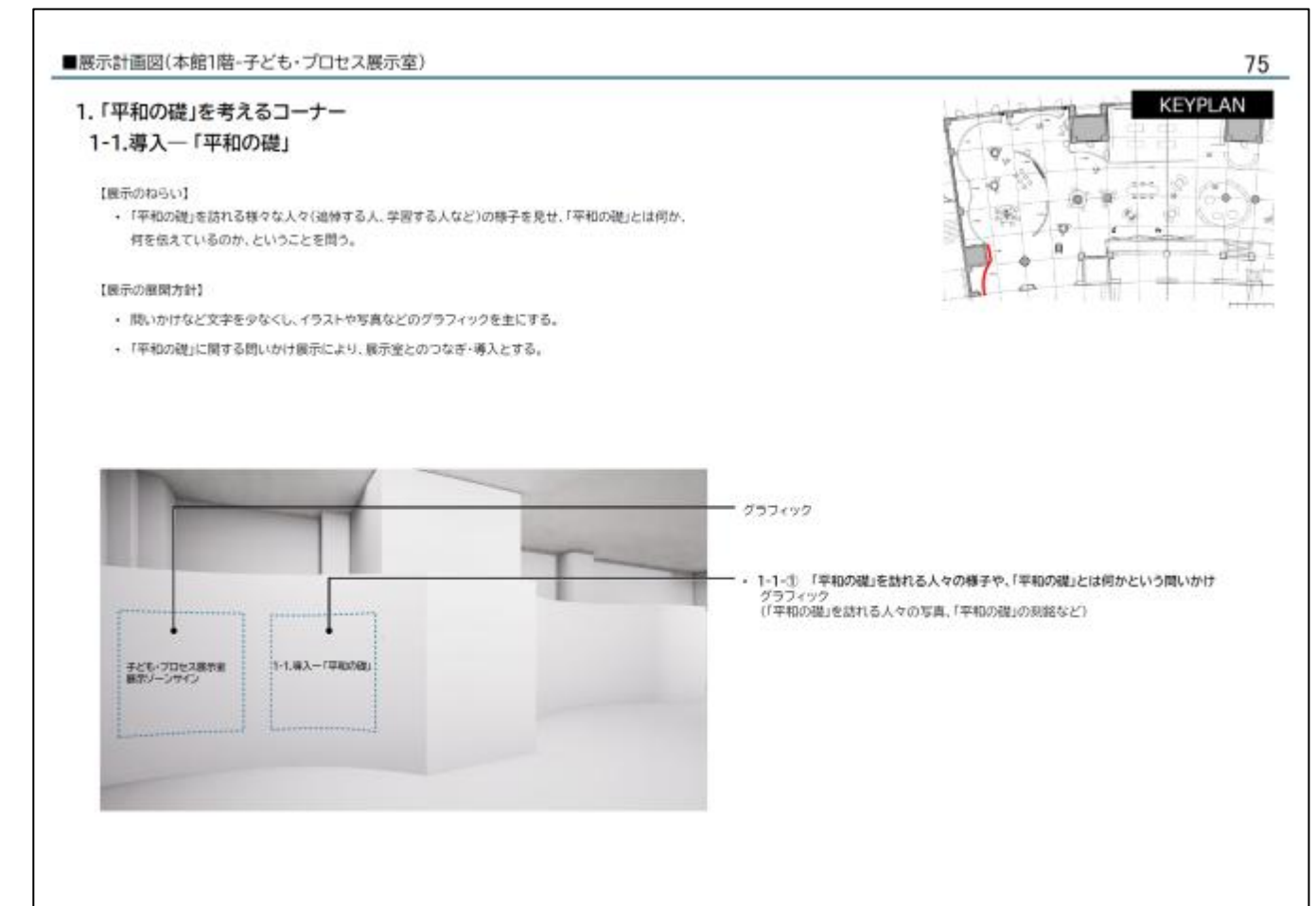
「導入の導入」において、慰霊の日の「平和の礎」の様子をシーンの始まりとして、映像をプロジェクターで投影する。



【平和の発信・学習部会】

▶子ども・プロセス展示室

導入として「平和の礎」に訪れる人々や「平和の礎」とは何かという問いかけをイラストや写真などグラフィックで展示する。



〔事務局の考え〕

- 前半は同じような（「平和の礎」に訪れる人々）展開になる。
- 後半は展開が異なるので、現在の計画を基本に検討を進めたい。

②第1展示室、第5展示室の「導入」について

【第7回監修委員会 資料2より】

第1展示室（導入部の問いかけ展示）と第5展示室の「導入」部分で「なぜ沖縄に基地が多いのか」という問いかけをする案で進んでいる。

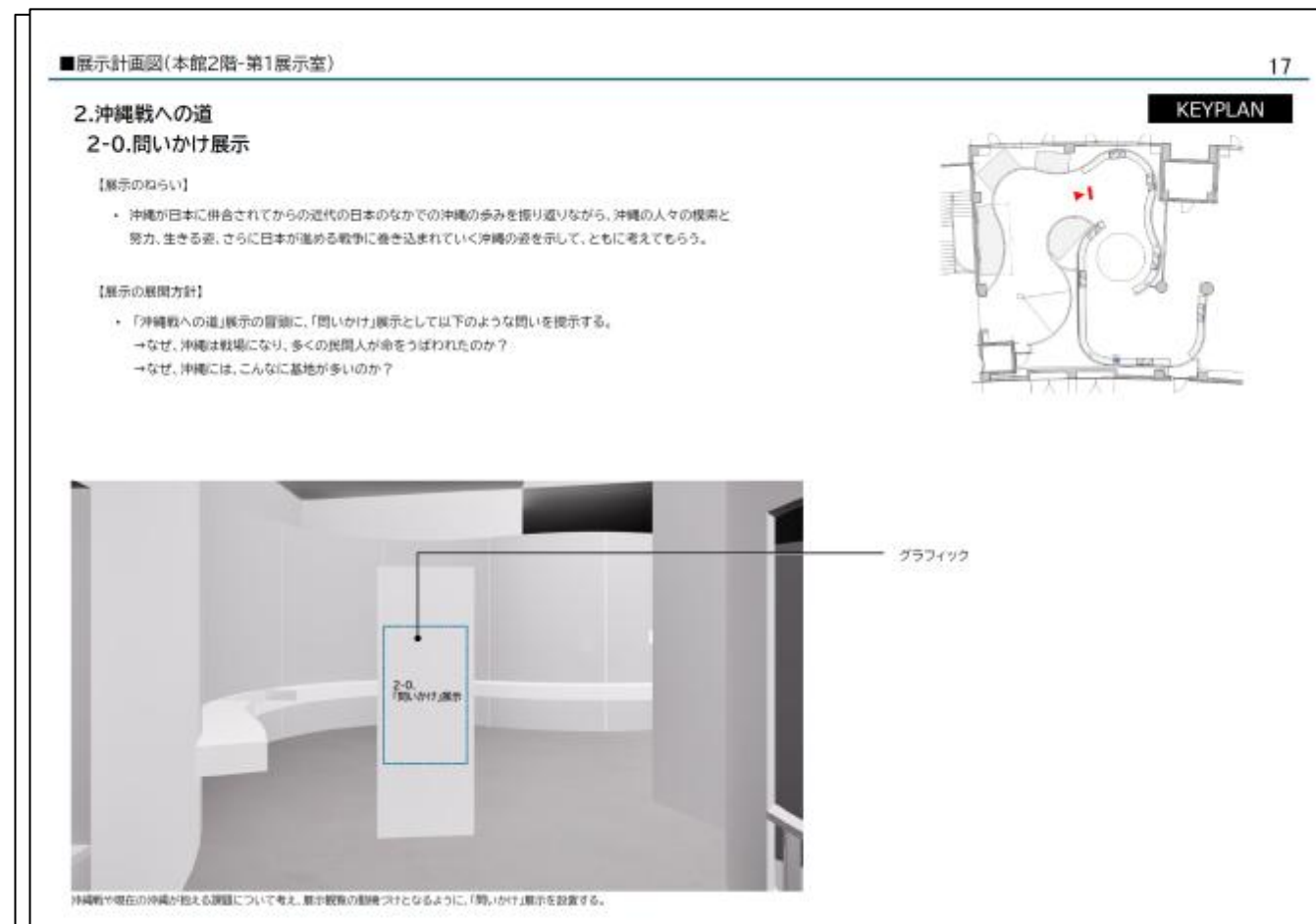
第5展示室では、「展示むすびのことば」をうけて、あらためて「なぜ沖縄に基地が多いのか」という問いかけをするという意見をいただいている。

【戦前・戦中時代部会】

▶第1展示室

「沖縄戦への道」展示の冒頭に、「問いかけ」展示として以下のような問いを提示する。

なぜ、沖縄は戦場になり、多くの民間人が命を奪われたのか。
なぜ、沖縄にはこんなに基地が多いのか。



【戦後時代部会】

▶第5展示室

沖縄戦の最中から米軍が基地建設を行っている様子、この基地からの本土出撃の様子などをプロジェクターで投影し、現在の基地問題は沖縄戦時から始まっていたことをメッセージとして伝える。



〔事務局の考え〕

・展示手法、展開ともに異なるので、現在の計画を基本に検討を進めたい。

③「平和の礎」刻銘者データを活用した展示について

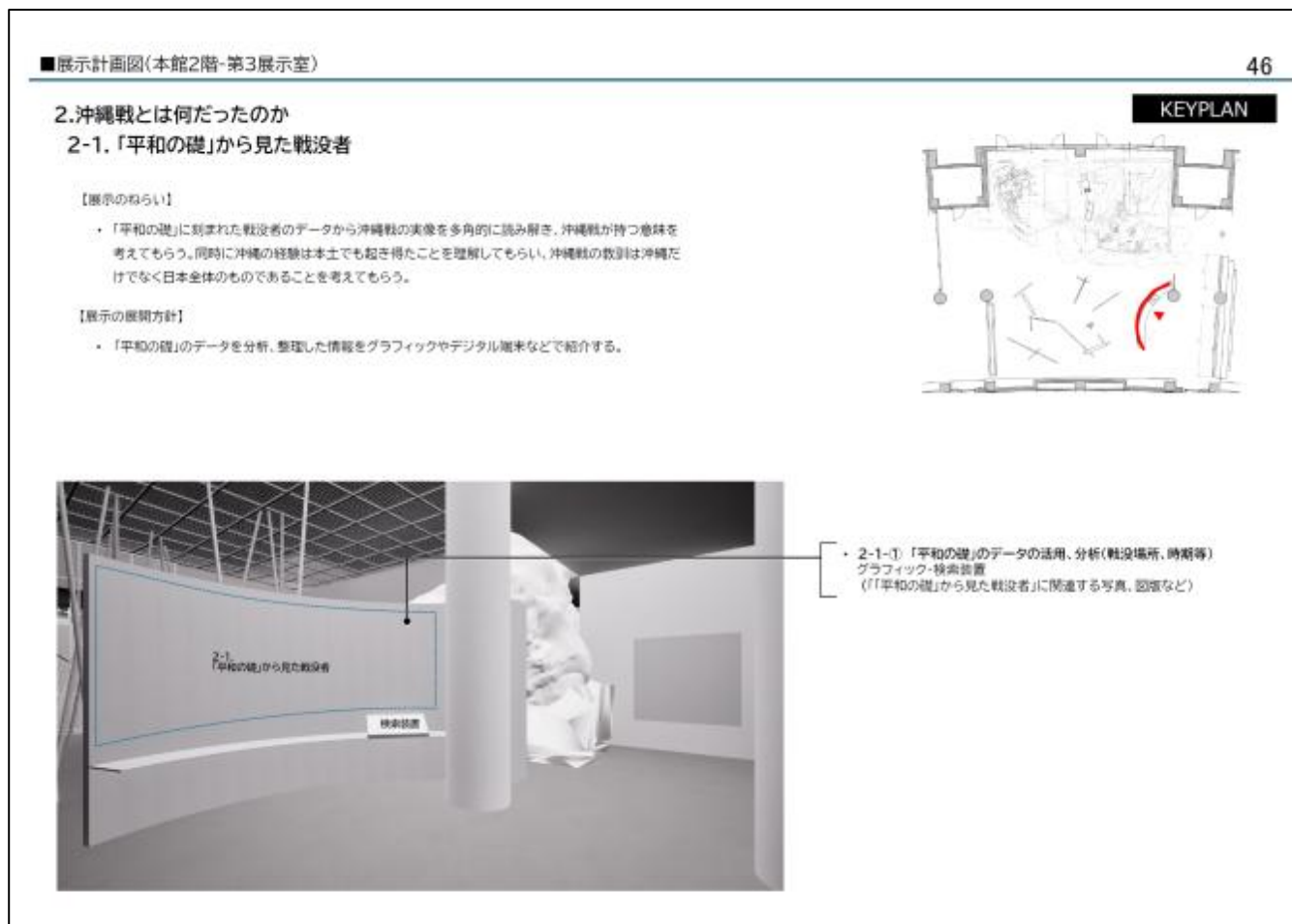
【第7回監修委員会 資料2より】

第3展示室「『平和の礎』から見た戦没者」、子ども・プロセス展示室「平和の礎を考えるコーナー」において、「平和の礎」刻銘者データを活用した展示の案が出ている。

【戦前・戦中時代部会】

▶第3展示室

「『平和の礎』から見た戦没者」において、「平和の礎」のデータを分析、整理した情報をグラフィックや検索装置で展示する。



【平和の発信・学習部会】

▶子ども・プロセス展示室

「『平和の礎』のデータから見えること」において「平和の礎」のデータをグラフィック・映像・模型で展示する。



〔事務局の考え〕

- ・壁面グラフィックでは同じグラフ・地図を展示することもある。
- ・ねらいや手法は異なるため、現在の計画を基本に検討を進めたい。
- ・重複した場合においても、1階と2階を「往還する学びの空間」としての関係性を深めることに繋がる。

④第5展示室「現在の戦争と紛争」、「世界情勢」の展示について

【第7回監修委員会 資料2より】

展示更新基本計画において、「現展示の『現在の戦争と紛争』、『世界情勢』に関する展示の見直しを検討する。」(p6)が検討課題としてあがっている。

現在、第5展示室の内容には盛り込まれない方向で議論が進んでいる。

子ども・プロセス展示室「現在の戦争や平和について考えるコーナー」「平和創造について考えるコーナー」において類似した内容を扱う方向である。

【戦後時代部会】

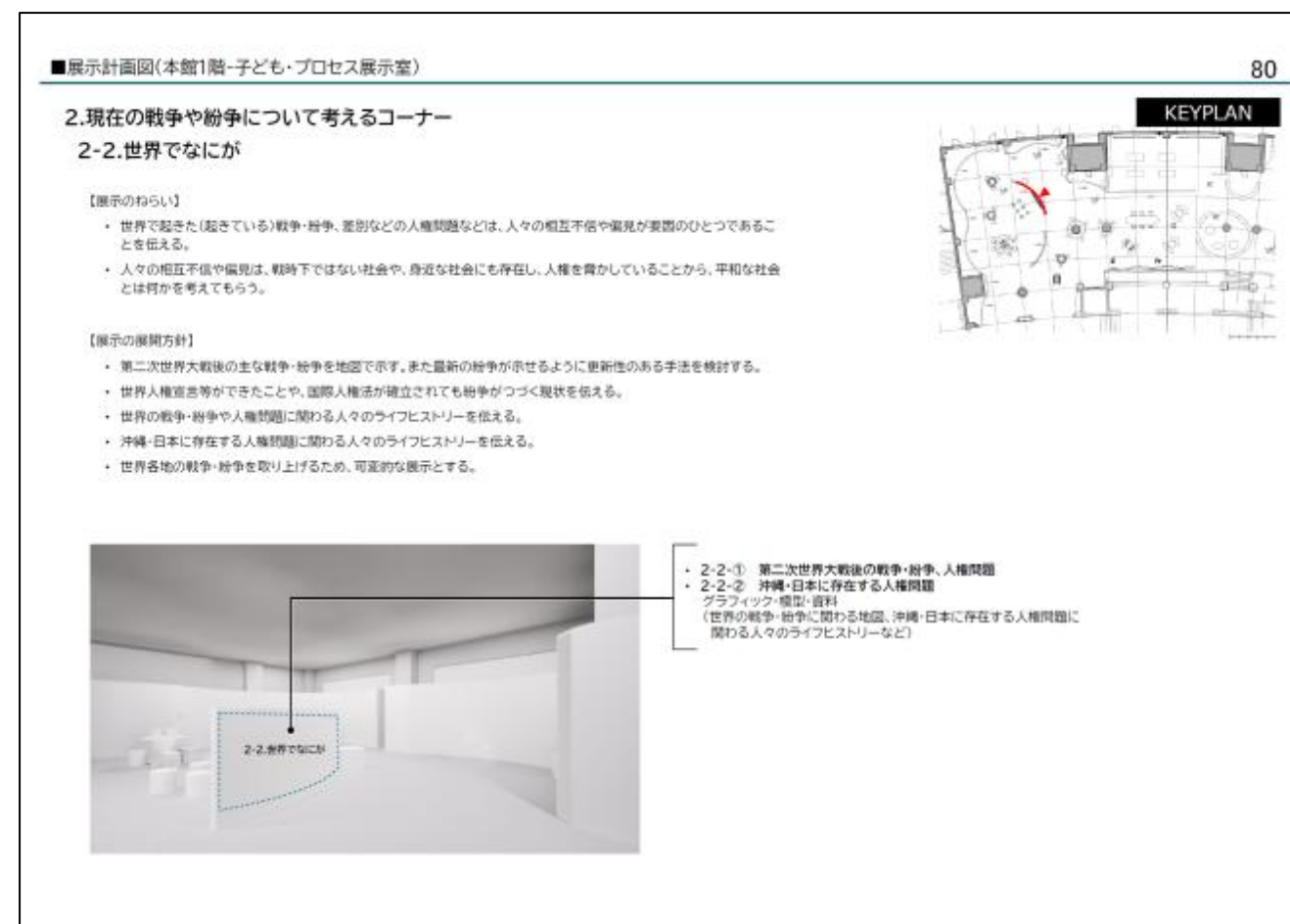
▶第5展示室

第5展示室の最後は、2階展示室最後のコーナーであることも踏まえた展示を検討している。

【平和の発信・学習部会】

▶子ども・プロセス展示室

「現在の戦争や平和について考えるコーナー」の中で、世界の戦争・紛争、人権問題などを、グラフィック・模型（地図）で取り上げる。



〔事務局の考え〕

・ねらいと展示手法が大きく異なるため、現在の計画を基本に検討を進めたい。

⑤－ 1 その他

【第7回監修委員会 資料2より】

第2・3展示室、第5展示室で「収容所／収容地区」、「戦後処理と諸問題」、「性暴力」などの内容が重なることが考えられる。部会においては、より展示を具体化したときに調整・検討することを確認した。

【戦前・戦中時代部会】

▶第2展示室

2－3 収容所／収容地区

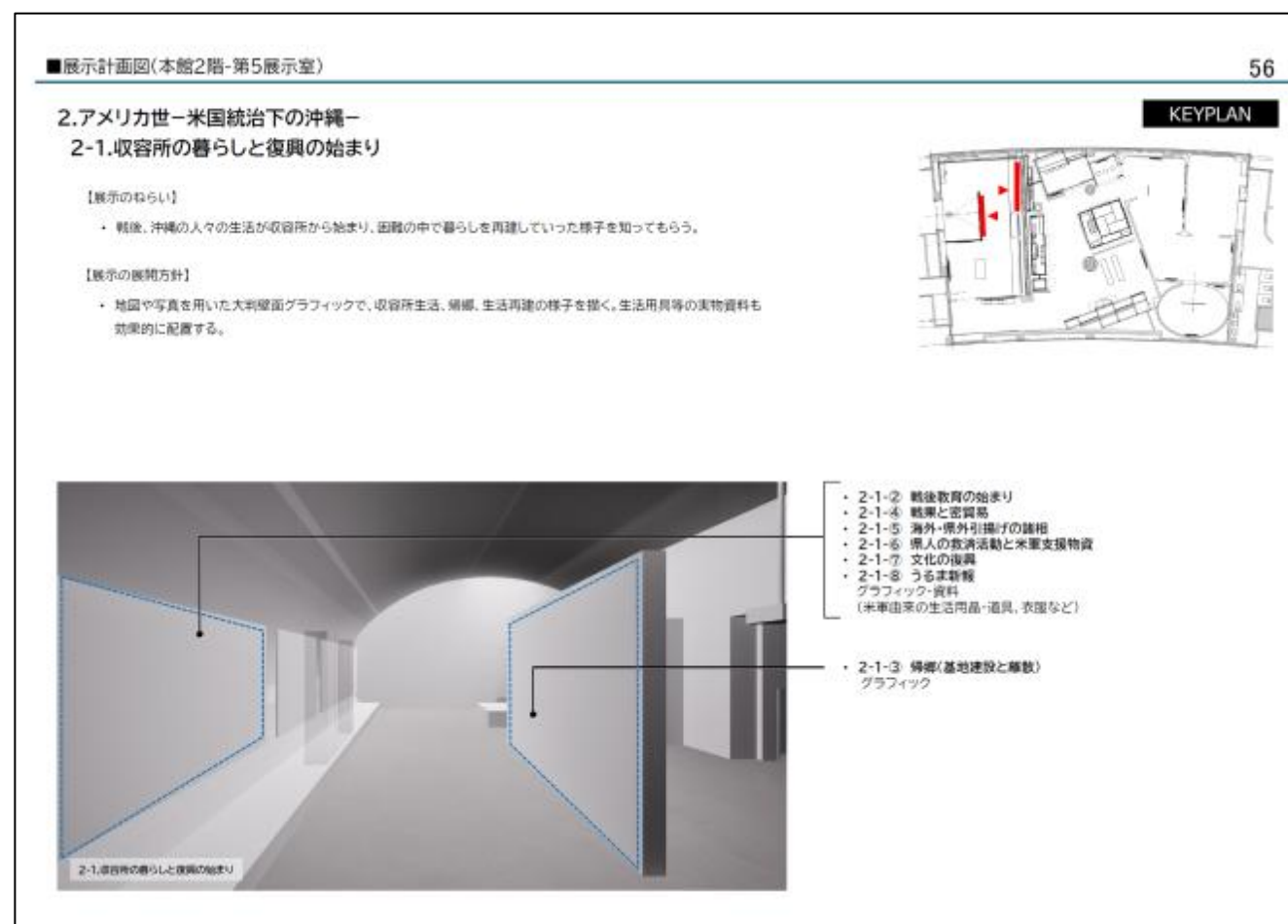
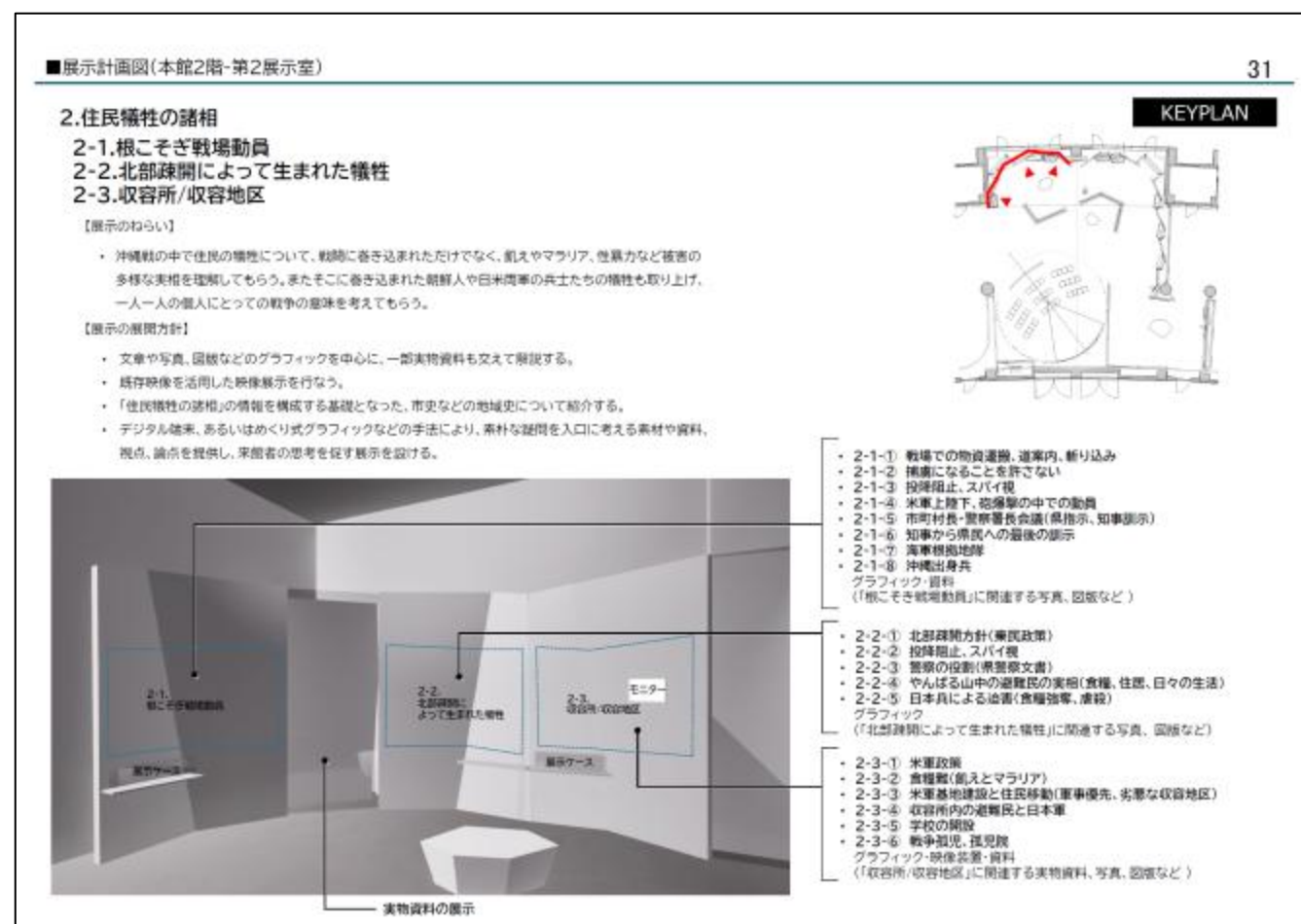
- ①米軍の政策 ②食糧難（飢えとマラリア）
- ③米軍基地建設と住民移動（軍事優先、劣悪な収容地区）
- ④収容所内の避難民と日本軍 ⑤学校の開設
- ⑥戦争孤児、孤児院

【戦後時代部会】

▶第5展示室

2－1 収容所の暮らしと復興の始まり

- ①収容所の暮らしと食糧事情 ②戦後教育の始まり
- ③帰郷（基地建設と離散） ④戦果と密貿易
- ⑤海外・県外引揚げの諸相
- ⑥県人救援活動と米軍支援物資 ⑦文化の復興
- ⑧うるま新報



〔事務局の考え〕

- ・ 展示内容がより具体化した時点で、引き続き調整・検討したい。

⑤－２ その他

【第7回監修委員会 資料2より】

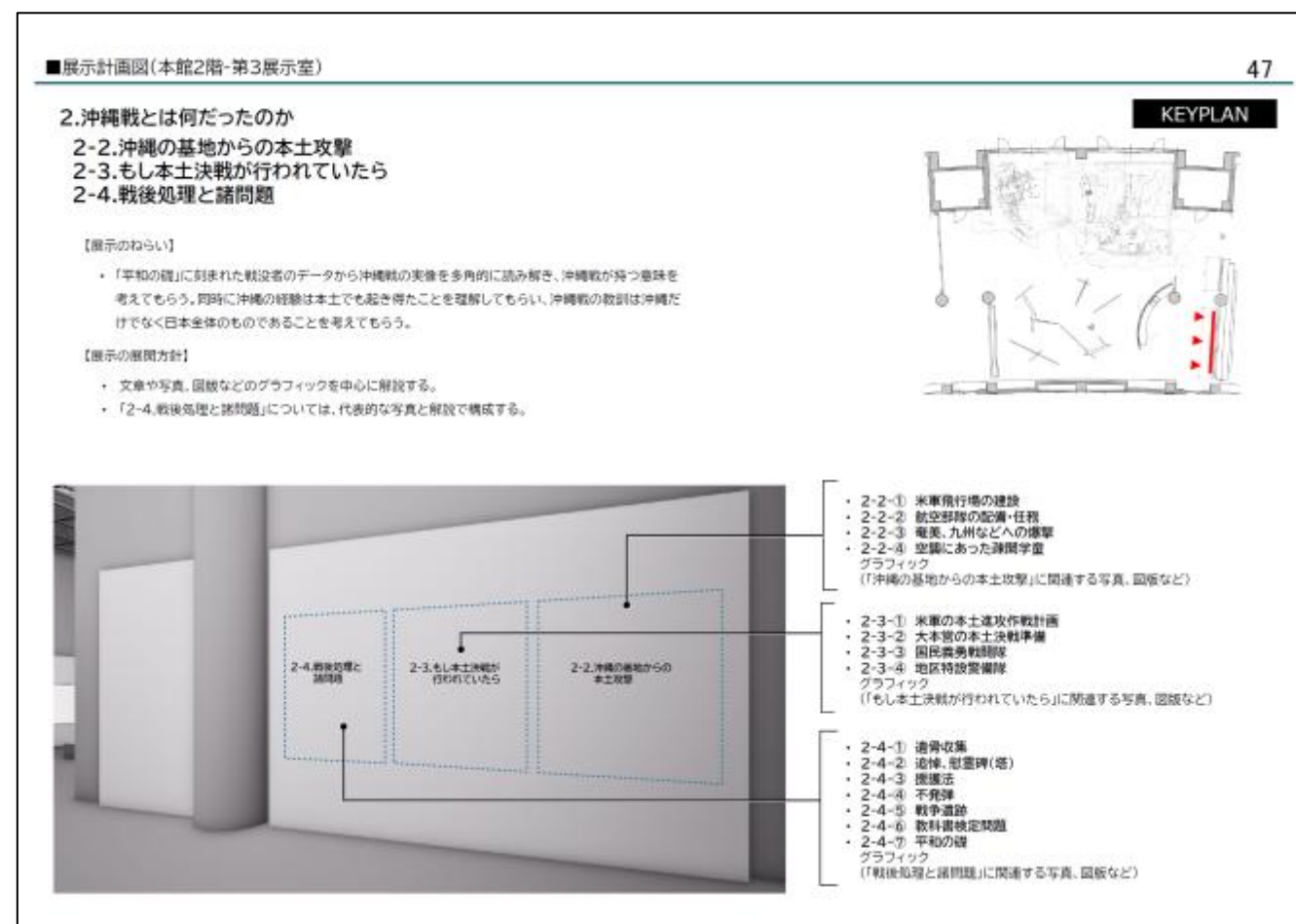
第2・3展示室、第5展示室で「収容所／収容地区」、「戦後処理と諸問題」、「性暴力」などの内容が重なることが考えられる。部会においては、より展示を具体化したときに調整・検討することを確認した。

【戦前・戦中時代部会】

▶第3展示室

2－4 戦後処理と諸問題

- ①遺骨収集 ②追悼、慰霊碑（塔） ③援護法 ④不発弾
⑤戦争遺跡 ⑥教科書検定問題 ⑦平和の礎



【戦後時代部会】

▶第5展示室

3－4 沖縄の歩みと平和への展望

- ①沖縄の歩みと平和への展望



〔事務局の考え〕

- ・展示手法、展示展開が異なるため、現在の計画を基本に検討を進めたい。
- ・展示内容がより具体化した時点で、引き続き調整・検討したい。

⑤－３ その他

【第7回監修委員会 資料2より】

第2・3展示室、第5展示室で「収容所／収容地区」、「戦後処理と諸問題」、「性暴力」などの内容が重なることが考えられる。部会においては、より展示を具体化したときに調整・検討することを確認した。

【戦前・戦中時代部会】

▶第2展示室

2－7 軍隊による性暴力

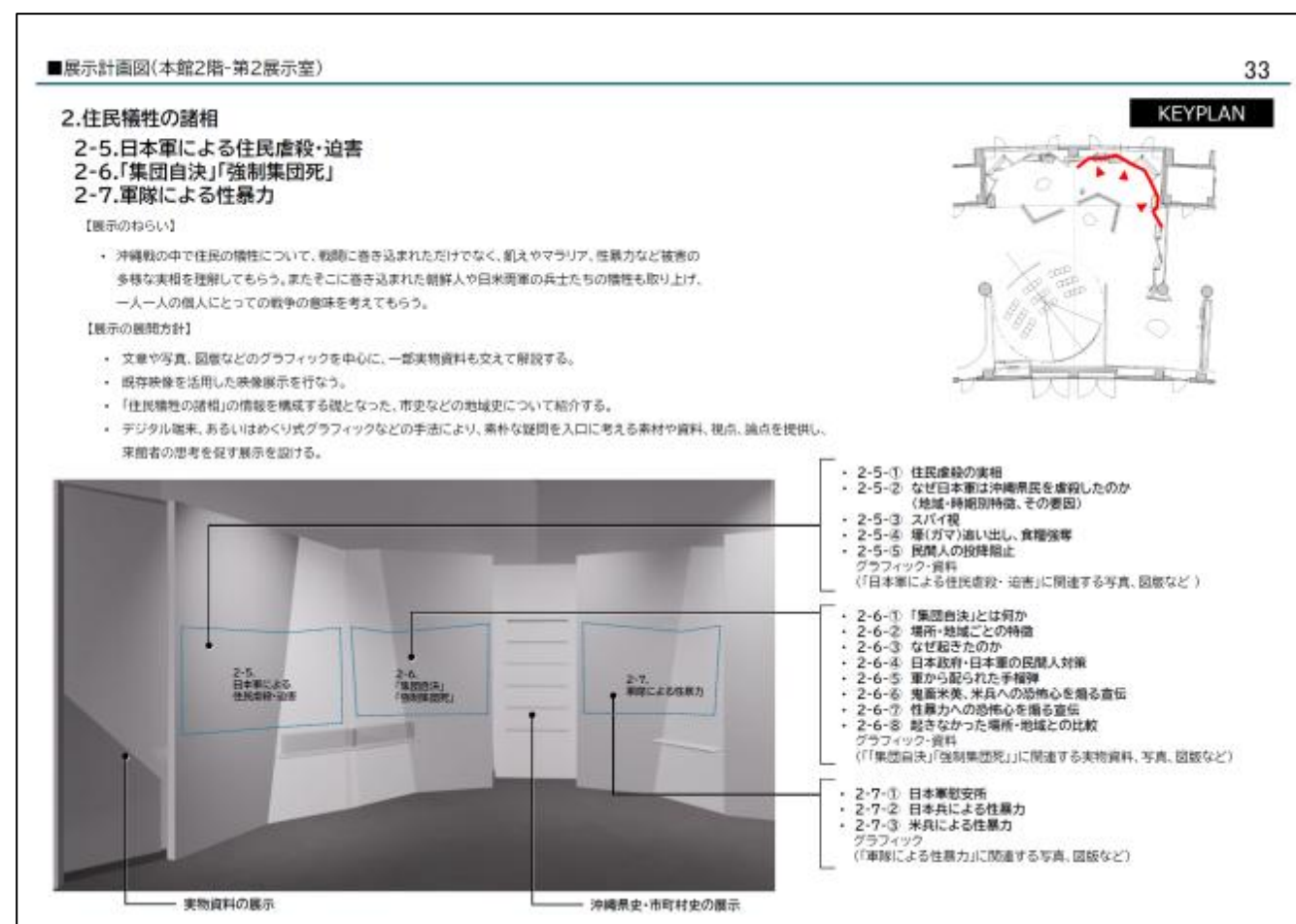
- ①日本軍慰安所
- ②日本兵による性暴力
- ③米兵による性暴力

【戦後時代部会】

▶第5展示室

3－3 軍隊と性暴力

- ①慰安施設設置構想と米兵相手の歓楽街
- ②ベトナム戦争と性暴力・殺人事件
- ③ 1995年米兵による少女性暴力事件で開催された県民大会の様子
- ④強姦救援センター・沖縄「REICO(レイコ)」
- ⑤米軍による性暴力



〔事務局の考え〕

- ・展示手法、展示展開が異なるため、現在の計画を基本に検討を進めたい。
- ・心理的な影響に配慮して、展示手法や空間を工夫する。